

明星大学学生相談室にて卒業まで学生相談室を利用した卒業生の皆さまへ

学生相談における“卒業による終結”を学生がどのように受け止めているかについての研究を行うため、以下の内容で相談時に収集した情報の一部を利用します。研究に情報を利用して欲しくない方や、研究の詳細をお知りになりたい方は、末尾記載のお問合せ先（相談窓口）までご連絡ください。

1. 研究課題名

「学生相談における面接の“卒業による終結”を、学生はどのように受け止めているか①－終結の様相の分類と検討－」

2. 研究期間

2026年承認日～2026年10月31日

3. 研究の対象

2015年3月～2025年3月の間に卒業し、学生相談室を卒業まで利用した学生。

この研究は、明星大学研究倫理委員会の倫理審査を受け、明星大学学生支援ユニット責任者の許可を得て実施するものです。

4. 研究目的・方法

学生相談室においてカウンセリングを受けている方が、卒業によって相談を終結せざるを得ないことについて、どのように受け止め、どのような思いを持っていたかについて明らかにすることを目的としています。学生相談の終結に関する新たな臨床的視点を見出し、今後の有効な学生相談・支援のあり方について整理・検討するために、相談目的で収集した相談記録の一部を活用します。分析方法は質的研究法の手法に従って、相談室での語りや状況に関する相談記録の一部を抽出し、複数のカウンセラーの合議によってコード化・カテゴリ化を行います。その他、性別や利用期間、外部支援機関への繋がりの有無やニーズ等のデータについて統計的に処理します。

5. 研究に用いる可能性のある情報

性別、利用期間、外部支援機関へのつながりや希望の有無、卒業後の状況（就職、進学、その他）、終結時の状態、主訴の改善状況、終結への抵抗感、継続相談へのニーズ、終結に対する受け止めや思いに関する語り・行動・様子等に関する記録。

6. 個人情報の取り扱い及びデータの保管について

本研究で得られた情報は、個人を識別する情報を取り除き、新たに番号を付して匿名化

し、対応表を作成します（連結可能匿名化）。これは対象者からのデータ除外の希望があった場合、対象データを特定し除外するためです。

対応表及び分析によって得られたデータは、パスワードをつけ外部記憶装置に保存の上、書棚に施錠して保管・管理し、本学学生相談室内の特定の関係者（研究責任者及び研究協力者）のみがアクセス可能な状態にします。また研究の過程で紙の資料が生じる場合も、関係者のみがアクセスできる施錠された書棚に厳重に保管し、相談室外に出ることはありません。研究結果を学会や学術誌にて公表することがありますが、氏名はもちろん個人が特定できる形で公表されることはありません。なお、研究データは実施期間終了後10年経過後に研究責任者の責任において適切な方法で廃棄します。

7. 研究組織

・研究機関

明星大学学生相談室

・研究責任者

田村友一（学生相談室チーフカウンセラー、臨床心理士、公認心理師）

・情報にアクセスする可能性のある者

学生相談室所属のカウンセラー（臨床心理士、公認心理師）

8. お問い合わせ先（相談窓口）

本研究に関するご質問や懸念点等がありましたら、以下の連絡先までご連絡ください。また、研究に相談記録を利用して欲しくない場合は研究対象と致しませんので、研究期間内に下記連絡先までお申し出ください。ただし発表済みデータについては除外できない場合があります。ご了承ください。利用を拒否される場合でも申告された方に不利益が生じることは一切ありません。なお謝金はありません。

【問い合わせ及び研究への活用を拒否する場合の連絡先】

連絡担当者：田村友一

研究責任者：田村友一

所在地：〒191-8506 東京都日野市程久保 2-1-1

機関名：明星大学 学生支援ユニット 学生相談室

電話番号：042-591-5202（学生相談室受付）

E-Mail：gad-soudan@ml.meisei-u.ac.jp（学生相談室受付）

※研究に協力いただくにあたり、研究・調査に関する内容以外で、研究代表者へ直接問い合わせできない内容の相談は、以下にお願いします。

【相談窓口】

明星大学 研究倫理委員会事務局

kenkyurinri@ml.meisei-u.ac.jp

〒191-8506 東京都日野市程久保 2-1-1

電話 042-591-5097 FAX 042-591-5644